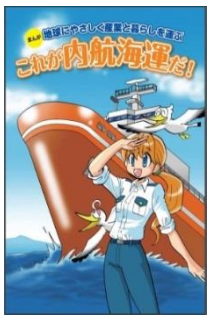



# 海事に関する学習内容を中心としたカリキュラム・マネジメント例

※便宜上、単元名・ページ数等は東京書籍『新編 新しい社会』（小学校：平成27年度用、中学校：平成28年度用）、『新編 新しい地図帳』（平成27年度用）、『新編新しい社会 地図』（平成28年度用）を参照した。

枠組み	社会		他教科等の活動例					
	新学習指導要領の学習内容	海事に関連する内容	他教科	道徳	特別活動	生活・総合	備考	
小学校	1年		[国語] ・船や海に関する絵本を紹介して興味関心をもたせる。 [音楽]・海・船の歌を歌う [図工]・海の絵を描く(合科) [体育]・海の歌でダンスを踊る		[特別活動] ・「海の日」に、夏休みに海に行く場合のみどころと学びどころの紹介 [生活] ・笹舟を作って小川に浮かべたり流したりする(自然に親しむ) 図工と合科 ・「町探検」で、港のあるステキな町を知る。 [総合] ・海事にかかわる自由研究を生活科の視点でつくることのできる。 ・理科的・社会的なものを合科的に取り扱う		低学年向けの絵地図と絵本	
	2年						低学年向けの絵地図	
	3年	(1) 身近な地域と市の様子 (2) 地域に見られる生産や販売の仕事 (3) 地域の安全を守る働き (4) 市の様子の移り変わり	(臨海部の地域で) ・公共施設(港)の場所と働き ・港に関わる仕事の種類 ・港の安全(防波堤など) ・港の様子や仕事の変化	[国語] ・船や海に関する絵本を紹介して興味関心をもたせる。 ・船・海を題材にした文章を読む(読書指導) [図工] ・客船・タンカーの絵を描く ・帆船の模型をつくる		[特別活動] ・「海の日」に、夏休みに海に行く場合のみどころを社会・理科で学ぶ ・港や船や船員について学べる ・博物館や資料館(臨海部) [総合] ・「生産や販売」の代替単元として、「港で働く人(流通)」のお話を聞き、仕事の特徴と工夫をまとめる		中学年向けの観光地図など
	4年	(1) 県の様子 (2) 人々の健康や生活環境を支える事業 (4) 県内の伝統や文化、先人の働き (5) 県内の特色ある地域の様子	(臨海部の地域で) ・公共施設(港)の場所と働き ・港に関わる仕事の種類 ・港の安全(防波堤など) ・港の働き ・海に関する行事や由来	[国語] ・船・港・海を題材にした文章を読む(読書指導) [理科] ・ヨットはなぜ進むのか ・風力をいかにした船(帆船の歴史)	・発達段階に即した道徳資料づくり ・マンガやアニメ映画などで海事に関する興味をもつ。	[特別活動] ・海や港や船にかかわる事故や災害。 ・旅行時の安全対策の指導。 [総合] ・港の役割、施設・設備を調べる。 ・貨物船・船員の仕事の研究 ・地域の港で扱われている製品を調べる [家庭教育・地域] ・船旅の際の探究学習、船の操舵体験 ・船の交通ルール(船舶の免許はどうやってとるのか)		『地図帳』や地図の活用  『地図帳』 ・「ながめてみよう日本のすがた」P1~3 ・「日本の自然」P4~6 ・「都道府県調べ」P7~8
	5年	(1) 我が国の国土の様子と国民生活 (2) 我が国の農業や水産業における食料生産 (3) 我が国の工業生産 (4) 我が国の情報と産業の関わり (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連	・四方を海に囲まれた日本 ・食料の輸入を支える海上輸送の役割の大きさ ・貿易を支える海上輸送の役割の大きさ ・海上輸送を担う船の働きと特徴	[国語] ・船・港・海を題材にした文章を読む(科学系や伝記系の読書指導) [理科] ・どうやって大型船に自動車を積み込めるのか ・比重・物質の変化・圧力 ・気象と気候・天然資源 [算数] ・図形・角度・比の値 ・わりあいと百分率 ・距離や重さの計算(換算) ・速さの計算(ノットとは) [英語] ・航海中のやりとり ・船や港や船員に関する英語		[特別活動](キャリア教育) ・夏休み(「海の日」)に地方の漁港と商港とのちがいを学習。 ・貿易にかかわる商社や港湾・船舶に従事する人達を学校に招く(講師・ブース形式) ・港への遠足で見学・調査 ・海事に関する模擬職業体験 [総合] ・日本の経済を支える輸出入を調べる ・貿易相手国・加工貿易のしくみ ・運ぶモノによって違う船の種類 ・海・船・港で働く人々(女性の進出)	 	『地図帳』 ・「日本の諸地域」P19~49 造船所の記号 ・「世界地図と地球儀」P51~52 ・「日本に向かう・タンカー」P53~56 ・「日本の食料生産」P65~66 ・「日本の工業生産」P67~68 ・「日本の貿易」P69~70 ・「日本の都道府県の統計」P75~76
	6年	(1) 我が国の政治の働き (2) 我が国の歴史上の主な事象 (3) グローバル化する世界と日本の役割	・遣唐使船による大陸文化の受け入れ ・江戸時代の航路の開発による海上輸送の発達と経済の発展	[国語] ・発達段階に即した船・港・海を題材にした文章を読む(歴史系・科学系の読書指導) ・港を題材にした文章を読む  [図工]・船の模型づくり		[特別活動] ・「海の日」に、夏休みの旅行で江戸時代の海と人々のかかわりについて学ぶことを紹介。 ・博物館や資料館で学びレポートをつくる。(自由研究) ・修学旅行で地域の港を見学 [総合] ・日本に外国の文化が(特に船との関わりで)どこからもたらされたか調べる。 ・歴史上の人物と船 例：「聖徳太子と遣隋使船」「ペリーとサスケハナ号」「勝海舟と咸臨丸」…。		『地図帳』や地図の活用

中学校	地理的分野	<p>A 世界と日本の地域構成 B 世界の様々な地域 C 日本の様々な地域 ① 自然環境 ② 人口 ③ 資源・エネルギーと産業 ④ 交通・通信</p> <p>・四方を海に囲まれた日本 (領海と国土を構成する島々) ・海上輸送網の整備状況 ・海上輸送による物流や人の往来 ・エネルギーや工業製品の原材料の輸入に果たす海上運輸(外航)の働きの大きさ ・人口の多い都市部の生活を支える海上運輸(内航)の働きの大きさ ※学校が所在する地域区分によって、①～④の取り扱いを考慮する。</p>	地理的分野	1年	<p>[国語] ・発達段階に即した船・港・海を題材にした文章を読む(読書指導) ・読書で「海事に携わった先人の歴史・考えに思いをはせる。 例：高杉晋作・吉田松陰・坂本龍馬 ・勝海舟・勝田銀次郎・出光佐三 ・〇〇商社や〇〇物産の歴史や海事にかかわった人達の伝記</p> <p>[数学] ・コンパスと羅針盤 ・理科の海洋学習とも重ね合わせながら、比重や浮力などの問題を解く。</p> <p>[理科] ・阪神淡路大震災や東日本大震災と海事のかかわり ・海事技術と科学と人間の探究学習(造船の技術進歩、装備と操船技術、港湾での物理的条件整備・ハイブリッド船の製造・持続可能な社会づくりや自然環境保全と科学技術 ・船舶や港湾に関わる基礎知識(浮力・容積・荷重など)</p>		<p>[特別活動][総合] ・キャリア形成と自己実現～1年次 職業を調べよう</p> <p>[特別活動] ・校外学習で海・港湾・船舶に関する学習や調査を行う。 ・職業について学ぶ活動において海事にかかわる方々を招いて講演や講義を行っていただく。 ・林間学園や臨海学校などで海・港湾・船舶に関する学習や調査を行う。</p> <p>[総合] ・1年生として、社会科のテーマと関連させながら、学校の特性や生徒の実態などを考慮して海事に関するテーマを設定する。</p>	<p>参考図書 『海賊と呼ばれた男』 『油断』 『地図帳』や地図の活用</p>  
	歴史的分野	<p>A 歴史との対話 B 近世までの日本とアジア C 近現代の日本と世界</p> <p>・日本の貿易史の特徴 ・海洋国家日本に与えた歴史的景響 ・貿易史からみた、暮らしの変遷</p>	歴史的分野	2年	<p>[英語] ・国際的な海上のやりとりはすべて英語であることを意識しての学習 ・海事にかかわる英語の読み物資料にあたる。</p> <p>[音楽] ・海洋にかかわる映画音楽 ・出航・帰港の際のマーチ音楽</p> <p>[美術] ・港・船にかかわる絵画鑑賞 ・港や船をモチーフに絵を描く ・石油コンビナートの景観やデザインに学ぶ(機能美)</p>	<p>・発達段階に即した道徳資料づくり ・伊能忠敬の不屈の精神 ・「勝田銀次郎と茅原基治」と陽明丸～「歴史に埋もれた実話800人を救った日本人」</p>	<p>[特別活動][総合] ・キャリア形成と自己実現～2年次 職場体験(臨海部では港湾や船内で)</p> <p>[総合] ・2年生として、社会科及び他教科などで蓄積した学びの成果をまとめる作業を充実させる。</p>	   
	公民的分野	<p>A 私たちと現代社会 B 私たちと経済 C 私たちと政治 D 私たちと国際社会の諸課題</p> <p>・エネルギーをめぐる国際情勢と海運の状況 ・海運から考える、日本の外交、安全保障、防衛等の国際問題</p>	公民的分野	3年	<p>[保体] ・保健分野にかかわる海事関係での知識や技能を身に付ける(救急救命)。</p> <p>[技術] ・社会科地理的分野との関連で時差や縮尺などの計算。 ・無線と通信技術(モールス信号、人工衛星など) ・「離島の魚を築地へ活魚としてはこぶ技術」から学ぶこと(テレビや新聞から学ぶこと) ・化石燃料の活用 ・石油コンビナートのしくみ ・海事・造船技術と科学と人間の探究学習</p> <p>[家庭] ・繊維(綿)の集積と運搬と陸揚げ ・食糧自給率の探究 ・住環境の整備と木材輸入の研究</p>	<p>[特別活動] ・修学旅行で海・港湾・船舶に関する学習や調査を行う。(例：浦安から東京港や湾岸、京都から大阪港や神戸港)</p> <p>[総合] ・3年生の学びの成果をまとめあげて、発表会を行う。</p>	<p>『地図帳』や地図の活用</p>  